

# メキシコの未来は明るい！

## ～メキシコ日本商工会議所の活動

メキシコに進出する日系企業の円滑な事業運営を支援するメキシコ日本商工会議所。メキシコ在住45年、来日中の遠藤茂男事務局長に話を聞いた。（聞き手：『月刊グローバル経営』編集長 須藤 真）

メキシコ日本商工会議所

えんどうしげお  
事務局長 遠藤茂男

1972年日墨交換留学生として渡墨。ジェットロ・メキシコ、パナソニック・メキシコ社を経て2012年から現職。日本メキシコ学院副理事長。



### 最新の情報を日本語で提供

#### — はじめに遠藤さんご自身について

大学のスペイン語学科を卒業した後、72年に交換留学でメキシコへ行きました。UNAM（メキシコ国立自治大学）の修士課程で学びました。ただし中退しましたが……。76年にメキシコ人女性と結婚、その時に永住を決意し今日に至っています。

ジェットロの現地事務所などを経て81年に松下電器産業（現在のパナソニック）の現地子会社に入社。2011年に退職するまで、30年間の前半は主にロジ関係（物流・輸出入）の業務を通じて税関や経済省（当時は商工省）、あるいは大蔵省など政府との接点が多くありました。後半はそうした関係から業界活動、渉外業務を担当していました。この後半の最後の7年間は社員ではなく常勤の会社顧問でした。

そして12年8月からメキシコ日本商工会議所（通称カマラ）で事務局長を務めています。



カテドラル（大聖堂）

#### — メキシコ日本商工会議所の活動は？

創設は1964年、2014年が創立50周年でした。活動の柱は3つあります。1つ目は会員への情報提供、これは全て日本語です。政治や経済や法制度、治安状況などについてセミナーやニュース配信を行っています。2つ目は会員企業が共通して困っている問題について、連邦政府や州政府などの当局に陳情を行うロビー活動です。現地の日本大使館の支援を得て陳情することもしばしばあります。3つ目は会員間の親睦です。新年会、ゴルフやソフトボール、日帰り遠足などを通じて交流するのですが、これが毎日忙しくしている皆さんにとっては貴重な息抜き場であり、情報交換の場ともなり大いに意義があると思っています。食事をしながらの月例会もやっています。

#### — 委員会活動も盛んなようですね

ビジネス環境整備委員会、治安問題委員会、知財・基準認証委員会など14の委員会、2の連絡会のほかグアナファト支部があります。例えば経済調査委員会では、月例会においてメキシコのマクロ経済動向や自動車の生産・国内販売・輸出・シェア等の報告があります。また、セミナーを頻繁に実施しています。

#### — セミナーの講師はどなたが？

講師は会員であるジェットロ、銀行等の金融機関、商社、会計事務所、弁護士事務所など専門家に依